

## 【I コリント人への手紙 14章】

「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、  
特に預言することを熱心に求めなさい。」

(I コリント14:1)

最も優れているのは愛です。という言葉からこの章に引き継がれています。12章で御霊の賜物が述べられ、愛の13章が挟まれ、この14章で「愛と御霊の賜物」を求めるように導かれています。ということは、神様の働きに賜物は不可欠ですが、愛なくして賜物のことは語れないということです。愛が一番重要で中心です。しかし愛だけあればいいのかというと、聖書はそう言っています。愛も賜物も必要なのです。

では神様の愛をどうやって求めるのでしょうか？太陽の光は昼間、外に出れば受けられますが、家の中に閉じこもっていても受けられません。同様に、愛を求めるのにも方法があります。一日の始めに、神様に賛美感謝して、悔い改め、み言葉を読んで礼拝する時に、御霊に満たされてきます。愛の源の神様から愛を受け、聖霊に満たされて一日を始めることは非常に大切です。(この方法だけではありませんが、早天礼拝は大きな祝福です！)

御霊の賜物の中でも特に、「預言」を熱心に求めなさいと神様は語っておられます。預言は9つの賜物の中でも、特別な位置にあります。預言をしないことは罪ではありませんが、従わないことによって、預言を通して表される神様の祝福を失うのです。ヨエルの預言は、聖霊が臨まれると預言預言と何度も預言のことが述べられています。この章でも2回も「預言することを熱心に求めるように。」と言われているし、賜物問題がなかったテサロニケ教会に対しても「預言をないがしろにしてはいけません。」と語られています。預言の賜物がどんなに重要視されているかがわかるでしょう。

神様は人類救済という愛のご計画を、教会に託されています。教会の徳を高めるために与えられる預言を捉えてゆきましょう。(予知、予告、神の教え、指示、愛、裁き、約束等) それ等は一言一言、吟味が必要です。神からの預言と受け取ったら聞き従いましょう。簡単に受けられることもあるかもしれませんが、多くは、そんなことでできない！というようなことを主が語られます。聞き従えない時もあり、困難も、挫折もゆるされてきます。しかしそのような時、感謝と賛美をすることによって、不思議な解決を今までも見せられてきました。孤児院建設に関しても、私たちの到底、手の届かないわざですが、着々と働きが前進しています。映画部門も、どの働きも考えられないほどのわざが起こされています。また私たち個人の問題も、教会の祈りに支えられて、思いを超えた素晴らしいことが起こされてきています。問題の渦中にある方も恐れず、なおなお感謝と賛美を捧げて主の勝利にあずかってゆきましょう。

時代は更に終わりの世へと向い、困難と試練にさらされるという預言は確実に成就しつつあります。これは「産みの苦しみ」だと語られています。主の再臨に至る苦しみです。その前に日本のリバイバルとユダヤ人の救いが起こることとは大きな戦いがあります。その時、この「感謝と賛美」がどんなに助けになることでしょうか！マーリン・キャロザース師が20年前の預言通りに、私達の教会に来てくださり、この真理を教えてください続けて、今年も26日から100名のチームがアメリカに派遣されて、マーリン師のセミナーを受けます。今年は今までとはレベルの違うことが起こるでしょう。愛を追い求め、賜物特に預言を熱心に求め、感謝と賛美をもって神様のご計画を成す者とされてゆきましょう！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.3.25 No.676

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

御霊に満たされなさい。  
詩と賛美と霊の歌をもって、互いに語り、  
主に向かって心から歌い、また賛美しなさい。  
いつでも、すべてのことについて、  
私たちの主イエス・キリストの名によって  
父なる神に感謝しなさい。  
エペソ5:18～20



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)  
The Lord's Cross Christian Center  
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>